



はちのす

木戸小学校学校だより

令和7年7月16日

No.286



みんながみんなの応援団

校長 長谷川 嘉彦

蝉の声が響く夏の日が始まりました。学校の周りの木々の緑がまぶしく、子どもたちの活動が輝きを増す季節です。

さて、今年度の育友会総会で「みんながみんなの応援団」という話をさせていただきました。

私たち教職員は、言うまでもなく、子どもたちの支えになりたいと考え、毎日の授業を行っています。子どもたちの成長を手助けする応援団でありたいと願い、日々励んでいます。同時に、私たち教職員は、子どもたちの笑顔に支えられ、子どもたちから元気をもらっています。私も毎朝、児童玄関前で子どもたちの笑顔とあいさつに元気をもらっています。教職員は、自分たちが応援団のつもりでいますが、実のところ、子どもたちに応援してもらっていることにもなります。

また、私たち教職員は、保護者の皆様から、お子さんの学習や生活面のことや、家庭での様子などの相談をお聞きした際には、「子育て応援団」のつもりで、いろいろと助言させていただいています。同時に、そのようなときに、保護者の皆様からの温かい対応によって、私たち教職員は元気付けられています。「保護者の方が温かく受け止めてくださって、とてもうれしかった」という経験をもつ教職員はたくさんいます。保護者の皆様は、私たち教職員の大切な応援団なのです。

このように考えてみますと、教職員は子どもたちの応援団、そして、子どもたちは教職員の応援団と言えます。また、教職員は保護者の皆様の応援団、そして、保護者の皆様は私たち教職員の応援団だと考えることができます。

子どもと教職員、保護者の皆様と教職員は「お互いがお互いの応援団」という関係でありたいと思います。……

運動会では、保護者、地域の皆様が子どもたちに声援を送ってくださいました。子どもたちもそれを受け、頑張っていました。子どもたちの一生懸命な姿を見て、保護者、地域の皆様もうれしい気持ちになられたのではないのでしょうか。私たち教職員もうれしく思いました。閉会式後、たくさんの保護者や地域の皆様から後片付けを手伝っていただいたことも、私たち教職員は、とても励みになりました。毎週水曜日と土曜日にはゆめ広場（ふれあいスクール）が開かれています。参加している子どもたちは、満面の笑みです。大勢の地域の方が運営してくださっているおかげで、子どもたちは楽しい時間を過ごすことができます。ボランティアの方の「子どもの元気な姿はいいですね」という言葉が心に残っています。お互いに応援をしていたり、応援されたりしています。

今朝も、子どもたちの「おはようございます」、保護者の方の「いつもありがとうございます」、そして、地域の方からの「今日も暑いですね。先生も頑張ってください！」という言葉に力をもらいました。これからも、子どもたちの健やかな成長のために、「みんながみんなの応援団」になれるように、皆様の木戸小学校へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

陽射しがまぶしい7月。子どもたちの元気な声が、学校や家庭、地域で響き渡ります。家庭や地域の温かい応援と支えの中で、子ども一人一人の笑顔が夏の空に輝いています。学校の花壇に地域の方が植えてくださった向日葵も日々大きくなっています。もう少しで向日葵も咲きます。向日葵のような素敵な笑顔の輪を広げていきたいと思います。

令和7年度 運動会

5月24日(土)に開催された運動会には、多くの保護者の皆様や地域の皆様にご来場いただき、温かいご声援をありがとうございました。

今年度は、競技得点制に加え、応援合戦にも勝敗をもたせ、より勝負を楽しむ運動会にしました。子どもたちは、「ダブル優勝目指して赤白全力でがんばろう」のスローガンのもと、競技や応援に全力で取り組んでいました。

子どもたち一人一人の努力と仲間との協力が光る、感動的な運動会となりました。保護者の皆様や地域の皆様の温かい応援が、子どもたちの大きな力となりましたこと、心より感謝申し上げます。



～応援リーダー長の感想～

赤組応援リーダー

O.H さん

僕が、運動会で一番思い出に残っていることは、応援合戦です。練習の時より声が出ていて、うれしかったです。本番間違えてしまったけど、みんながそのまま続けてくれたおかげで、最後までやり切ることができました。応援賞をとることができてすごく良かったです。

これまでの運動会の中で、一番の運動会になりました。全校のみなさん、ありがとうございました。

白組応援リーダー

A.S さん

僕は白組応援リーダー長を経験し、2つの成長を実感しました。

1つ目は、集団を引っ張る力が付いたことです。不安もありましたが、仲間と協力する中で自信がもてました。

2つ目は、相手を認めることの大切さに気付いたことです。赤組応援リーダー長の樋山さんに刺激を受け、自分を高めようと考えようになりました。

今年の運動会は、最高の運動会になりました。

5年生 自然体験教室

5年生は、6月24日（火）～25日（水）に、新潟市芸術創造村・国際青少年センター ゆいぽーとへ行きました。デイキャンプ体験でテントを立てたり、フォトオリエンテーリングをしたり、カレーを作ったりするなど、様々な活動を通して仲間と協力してやり遂げる大切さを学びました。

～自然体験教室の思い出～

5年 K. Tさん

自然教室で心に残ったことは、「生活班のみんなで過ごしたこと」です。朝ご飯や夜ご飯を生活班のみんなで食べると、いつもより美味しく感じました。

ベッドに布団を敷くときに何回も転んでしまいましたが、敷き終わってベッドに飛び込むと最高でした。まるで、雲の上で寝ているようでした。

友だちと協力すると、一人ではできないこともできると学びました。また行きたいです。

5年 A. Iさん

私が自然体験教室で楽しかったことは、1日目のデイキャンプ体験です。デイキャンプ体験では、テントを立てました。骨組みを作ったり、テントを立ち上げたりするとき、みんなで協力しました。また、マシュマロを焼くときには、友達に助けてもらいました。クッキーを挟んで食べたら美味しかったです。

協力や助け合いを自然体験教室で学んだので、今後の生活にも生かしていきたいと思います。

5年 K. Kさん

私が自然教室で心に残ったことは、「フォトオリエンテーリング」です。雨が降っていたために、室内でやりました。写真の場所を探すのは、楽しかったです。簡単な問題もあれば、難しい問題もありました。でも、みんなで協力すれば、難しいことでも乗り越えられると思いました。

またフォトオリエンテーリングのような班のみんなで協力する活動をしたいです。

5年 K. Iさん

自然体験教室で楽しかったことは、野外炊さんのカレー作りです。

僕は、かまど係でした。かまどは熱くて、離れたくなるくらいでした。けれども、おいしいカレーを想像して、火をうまく調整しました。少し辛かったけど、目がとび出るくらいおいしかったです。

次の家庭科も、がんばりたいと思いました。



デイキャンプ体験



フォトオリエンテーリング



野外炊さん（カレー作り）

